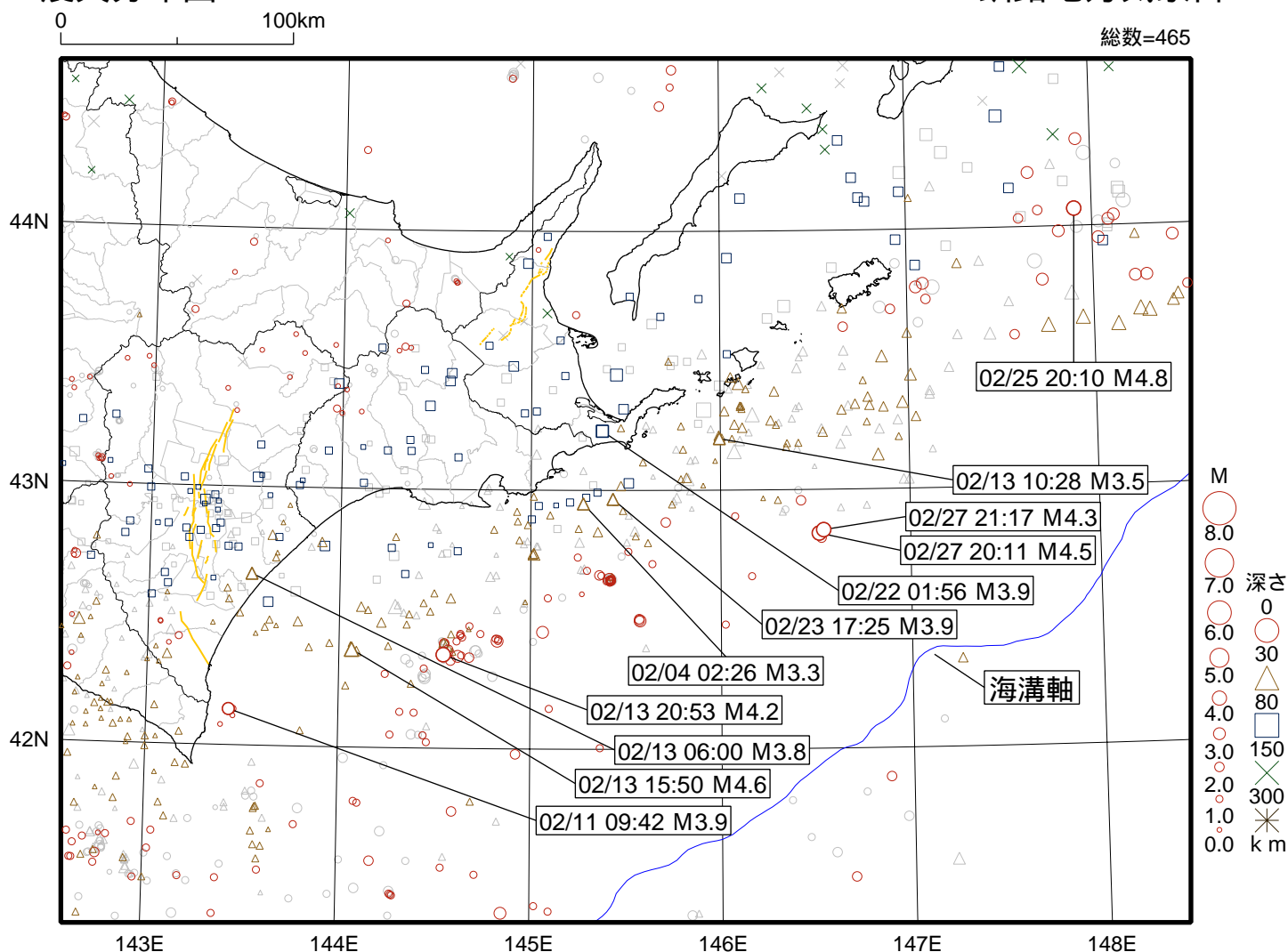


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2022年2月1日～2022年2月28日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況 (2022年2月)

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は12回(1月は6回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

13日15時50分、十勝沖の地震(M4.6、深さ61km)により、大樹町で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。

17日18時17分、浦河沖の地震(M5.0、深さ57km、震央分布図の範囲外)により、帯広市、幕別町、浦幌町、広尾町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

23日17時25分、釧路沖の地震(M3.9、深さ46km)により、浜中町、根室市で震度2を観測したほか、厚岸町、標茶町、標津町、別海町で震度1を観測しました。

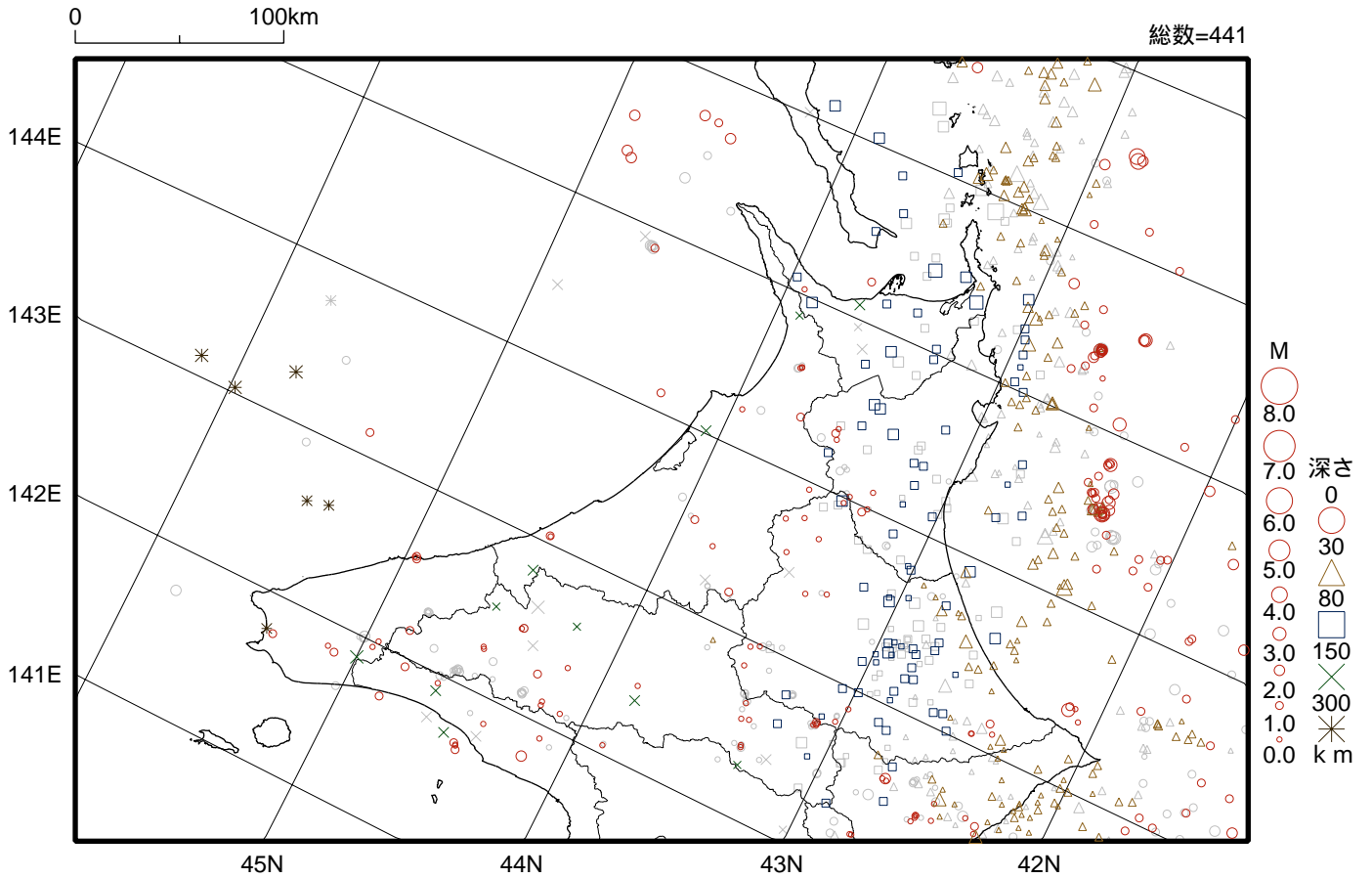
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

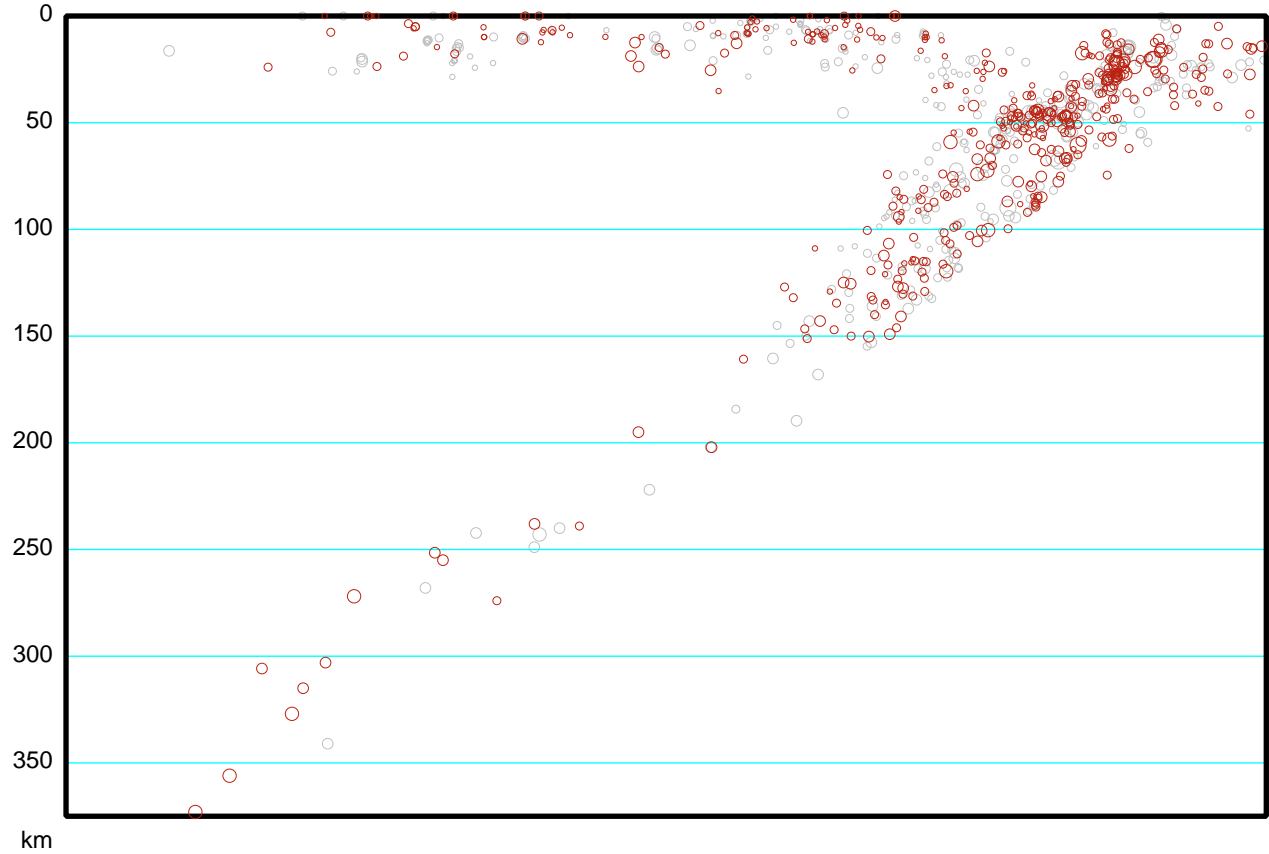
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2022年2月1日 ~ 2022年2月28日

震央分布図



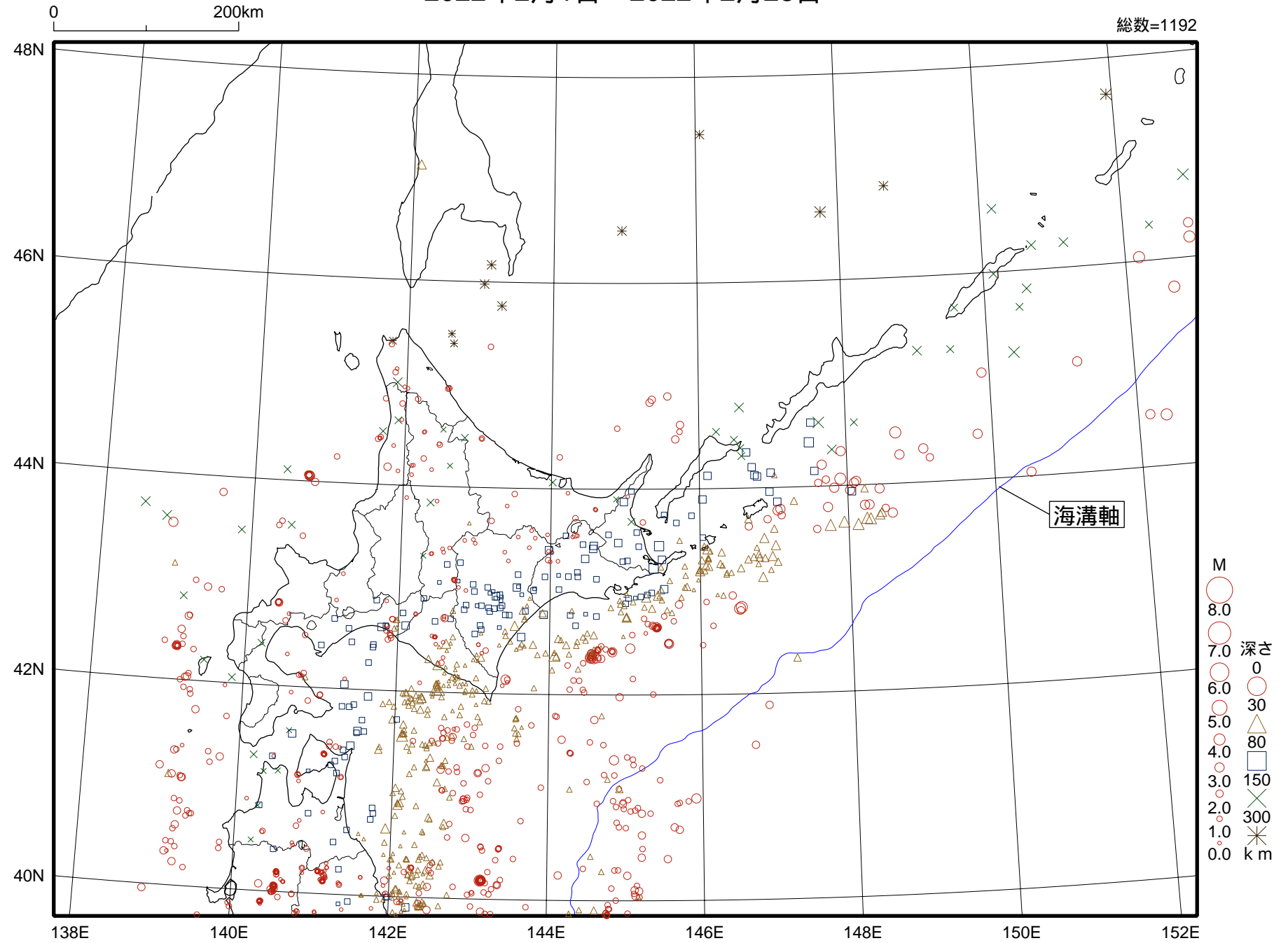
断面図



北海道の地震活動図

2022年2月1日 ~ 2022年2月28日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2022年2月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2022年 2月 4日 根室地方	02時26分 震度 1	釧路沖 根室市落石東*(05)	42° 56.8 N	145° 16.5 E	51 km	M3.3
2022年 2月11日 十勝地方	09時42分 震度 1	十勝沖 浦幌町桜町*(06) 十勝大樹町東本通*(06) 十勝大樹町生花*(06) 広尾町並木通(11) 広尾町白樺通(11)	42° 08.3 N	143° 25.7 E	17 km	M3.9
2022年 2月13日 十勝地方	06時00分 震度 1	十勝地方中部 新得町2条*(05) 帯広市東6条*(05) 幕別町忠類錦町*(08) 幕別町本町*(07) 十勝池田町西1条*(10) 豊頃町茂岩本町*(10) 本別町北2丁目(09) 本別町向陽町*(09) 浦幌町桜町*(12) 十勝大樹町生花*(12) 広尾町並木通(06)	42° 39.8 N	143° 32.2 E	74 km	M3.8
2022年 2月13日 根室地方	10時28分 震度 1	根室半島南東沖 根室市瑤瑤瑠*(11)	43° 11.9 N	145° 59.6 E	44 km	M3.5
2022年 2月13日 十勝地方	15時50分 震度 3 震度 2 震度 1 釧路地方 震度 2 震度 1 根室地方 震度 2 震度 1	十勝沖 十勝大樹町生花*(30) 足寄町南1条*(18) 幕別町忠類錦町*(17) 幕別町本町*(22) 十勝池田町西1条*(23) 豊頃町茂岩本町*(17) 本別町北2丁目(18) 本別町向陽町*(17) 浦幌町桜町*(18) 十勝大樹町東本通*(16) 広尾町並木通(20) 広尾町白樺通(19) 鹿追町東町*(12) 新得町2条*(11) 足寄町上螺湾(13) 陸別町陸別*(09) 帯広市東4条(08) 帯広市東6条*(12) 音更町元町*(13) 十勝清水町南4条(05) 芽室町東2条*(06) 幕別町忠類明和(07) 中札内村東2条*(05) 更別村更別*(12) 弟子屈町弟子屈*(17) 釧路市音別町尺別(20) 釧路市黒金町*(19) 釧路市阿寒町中央*(16) 釧路市音別町中園*(21) 白糠町西1条*(18) 弟子屈町美里(09) 釧路市幸町(13) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(05) 釧路町別保*(14) 厚岸町尾幌(09) 厚岸町真栄*(09) 浜中町湯沸(07) 浜中町茶内*(12) 標茶町川上*(06) 標茶町塘路*(13) 鶴居村鶴居東*(13) 標津町北2条*(17) 中標津町養老牛(11) 中標津町丸山*(08) 別海町常盤(11) 別海町西春別*(14) 別海町本別海*(11) 根室市厚床*(10) 根室市落石東*(09)	42° 22.6 N	144° 03.9 E	61 km	M4.6
2022年 2月13日 十勝地方 釧路地方	20時53分 震度 1 震度 1	釧路沖 十勝大樹町生花*(08) 標茶町塘路*(05)	42° 21.6 N	144° 32.7 E	23 km	M4.2
2022年 2月17日 十勝地方	18時17分 震度 2 震度 1	浦河沖 帯広市東4条(15) 帯広市東6条*(15) 幕別町忠類錦町*(17) 浦幌町桜町*(20) 広尾町白樺通(15) 上土幌町清水谷*(07) 上土幌町上土幌*(10) 鹿追町東町*(13) 新得町2条*(14) 足寄町上螺湾(05) 足寄町南1条*(10) 音更町元町*(13) 土幌町土幌*(09) 十勝清水町南4条(14) 芽室町東2条*(13) 幕別町忠類明和(05) 幕別町本町*(13) 十勝池田町西1条*(11) 豊頃町茂岩本町*(11) 本別町北2丁目(12) 本別町向陽町*(11) 中札内村東2条*(10) 更別村更別*(14) 十勝大樹町東本通*(13) 十勝大樹町生花*(14) 広尾町並木通(13) 釧路市音別町尺別(08) 釧路市阿寒町中央*(12) 釧路市音別町中園*(12) 白糠町西1条*(09) 標津町北2条*(05) 別海町常盤(05)	42° 02.5 N	142° 32.2 E	57 km	M5.0
2022年 2月22日 根室地方	01時56分 震度 2 震度 1	根室地方南部 別海町本別海*(16) 中標津町養老牛(06) 中標津町丸山*(05) 標津町北2条*(13) 別海町常盤(14) 別海町西春別*(10) 根室市牧の内*(14) 根室市厚床*(14) 根室市落石東*(10) 根室市瑤瑤瑠*(13) 十勝大樹町生花*(07) 浜中町茶内*(10) 標茶町塘路*(08)	43° 13.7 N	145° 22.5 E	100 km	M3.9
2022年 2月23日 釧路地方 根室地方	17時25分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	釧路沖 浜中町湯沸(22) 浜中町茶内*(21) 厚岸町尾幌(11) 標茶町塘路*(06) 根室市牧の内*(24) 根室市厚床*(20) 根室市落石東*(20) 根室市瑤瑤瑠*(17) 標津町北2条*(09) 別海町常盤(13) 別海町本別海*(08) 根室市弥栄(13)	42° 57.9 N	145° 25.9 E	46 km	M3.9
2022年 2月25日 根室地方	20時10分 震度 1	択捉島南東沖 根室市落石東*(05)	44° 03.9 N	147° 54.3 E	0 km	M4.8
2022年 2月27日 根室地方	20時11分 震度 1	根室半島南東沖 根室市落石東*(06) 根室市瑤瑤瑠*(06)	42° 49.8 N	146° 31.1 E	20 km	M4.5
2022年 2月27日 根室地方	21時17分 震度 1	根室半島南東沖 根室市弥栄(06) 根室市牧の内*(09) 根室市厚床*(08) 根室市落石東*(09) 根室市瑤瑤瑠*(10)	42° 50.6 N	146° 32.5 E	20 km	M4.3

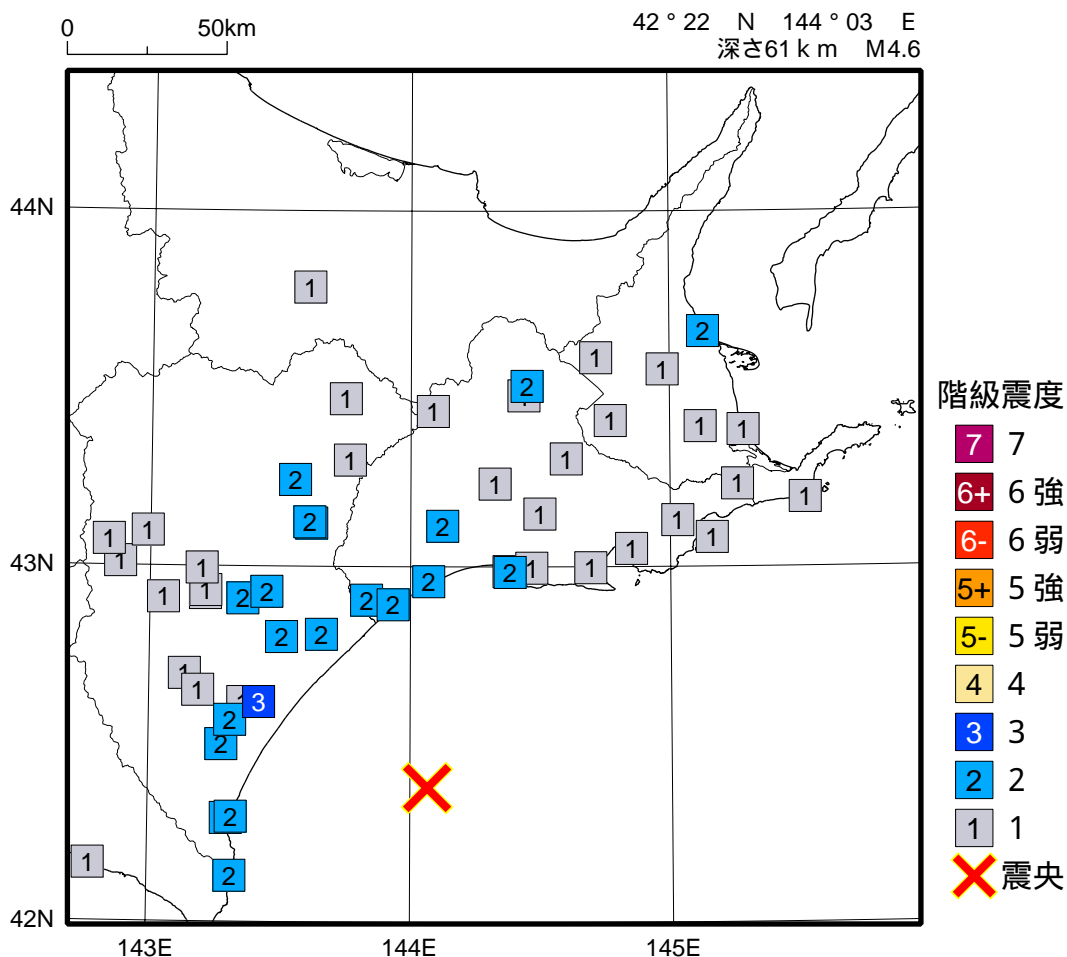
* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

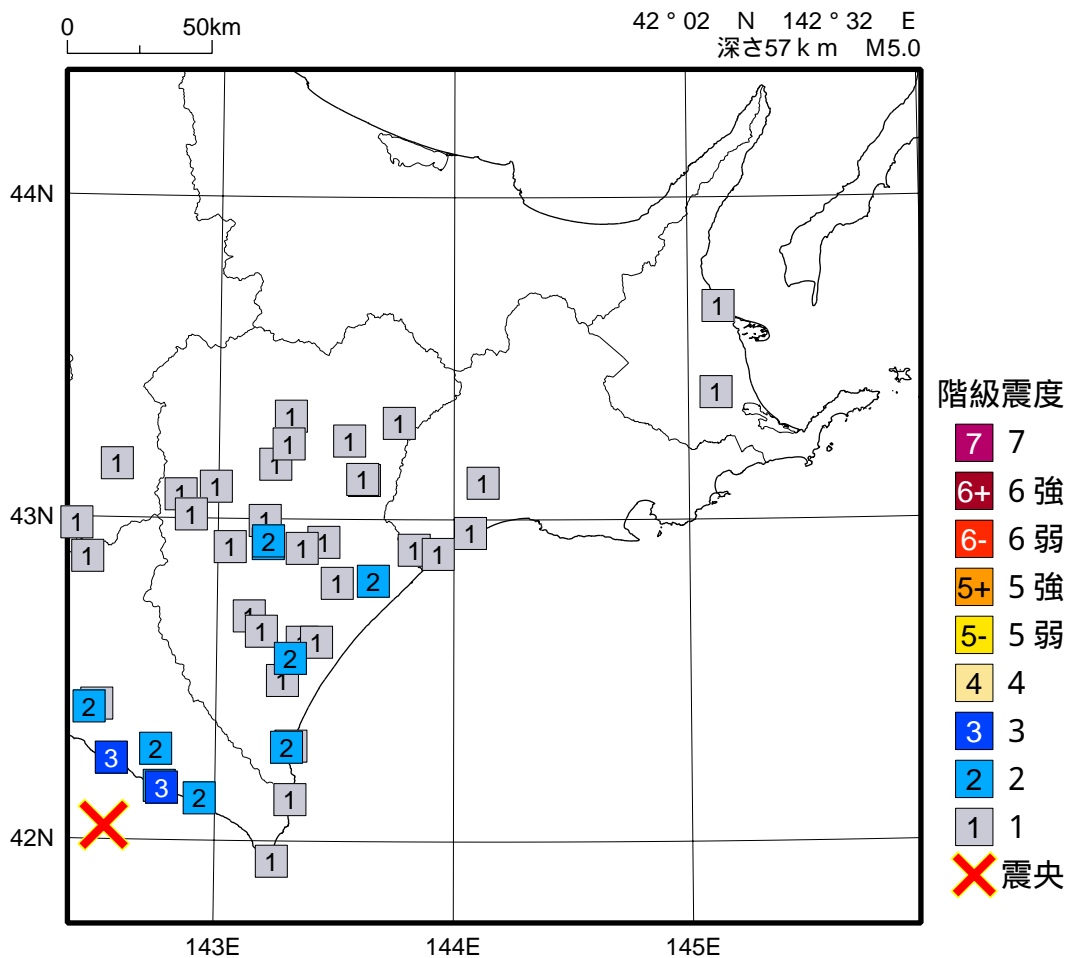
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

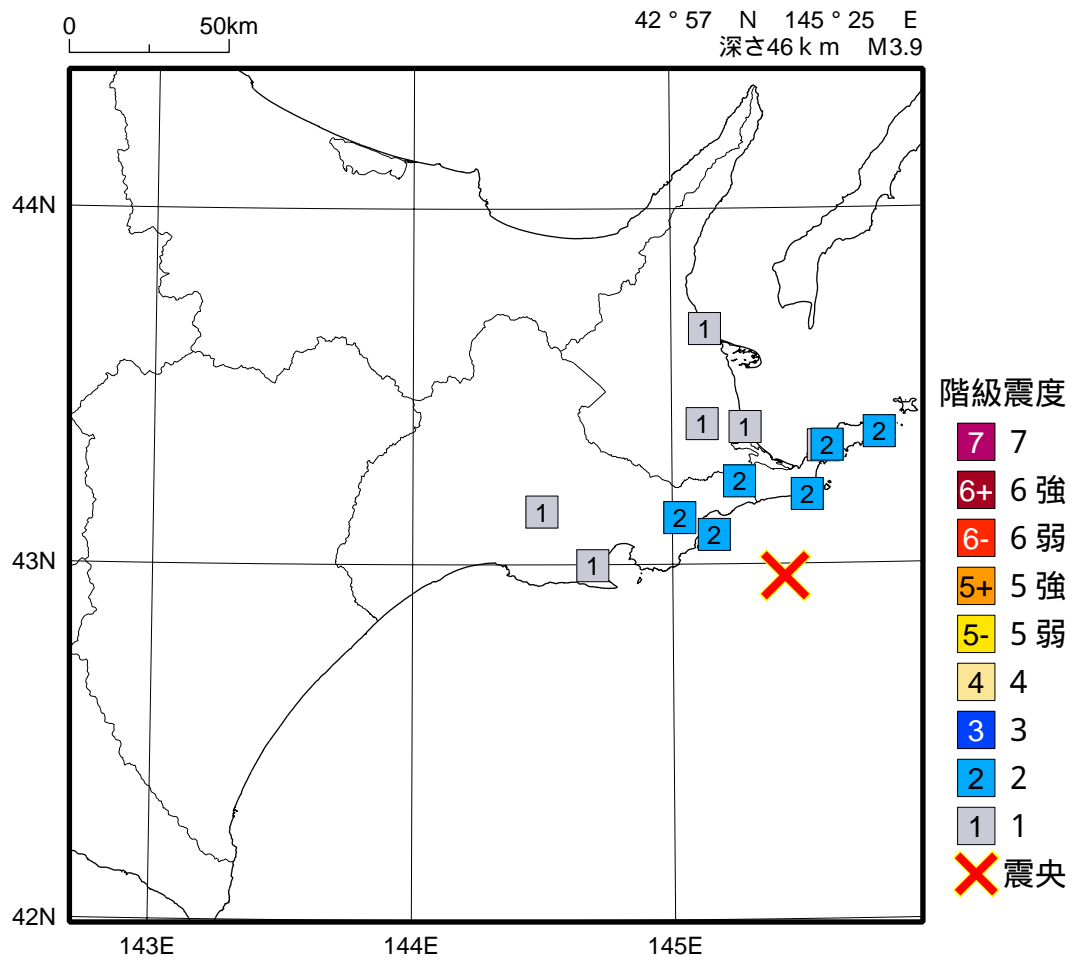
2022年 2月13日15時50分 十勝沖の地震の震度分布図



2022年 2月17日18時17分 浦河沖の地震の震度分布図



2022年 2月23日17時25分 釧路沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 次の期間の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以外の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。
2020年9月1日から10月23日まで、 2021年1月9日から3月7日まで、 2021年4月19日から12月5日まで
- ・ 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～異常震域について～

一般に、地震の揺れは震源に近い場所ほど強く、遠い場所ほど弱くなります。しかし、深い場所で発生する地震（深発地震）では、震源に近い場所よりも遠く離れた場所の方が強く揺れる場合があります、この現象を「異常震域」と呼びます。

日本周辺の深発地震の場合、震源に近い側の地表に到達する地震波は、震源直上の地震波が減衰しやすい領域を通る一方、太平洋側の地表に到達する地震波は、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通ります。その結果、震源から遠く離れた太平洋側で震度が大きくなります（図1、図2）。

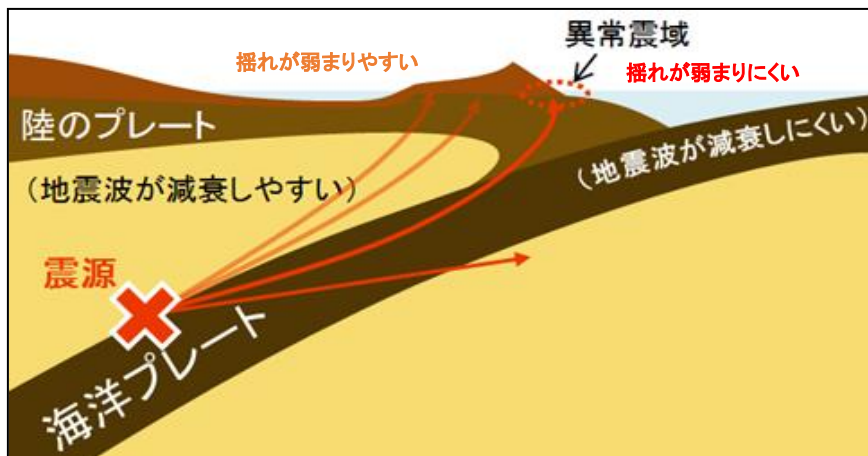
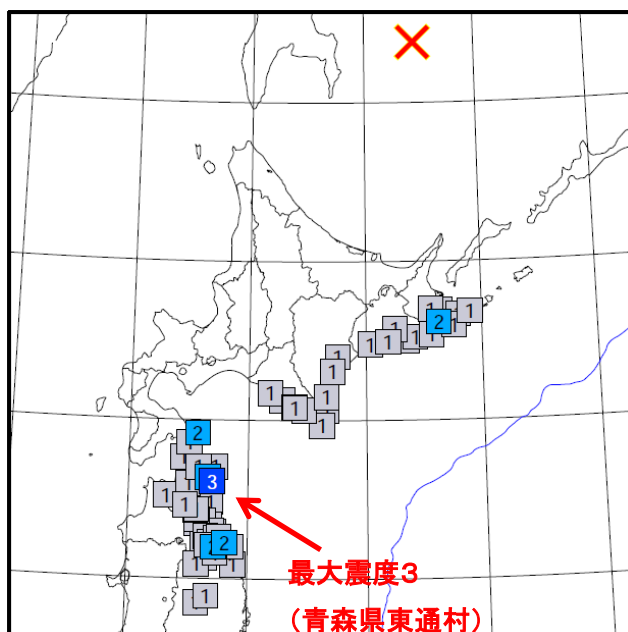
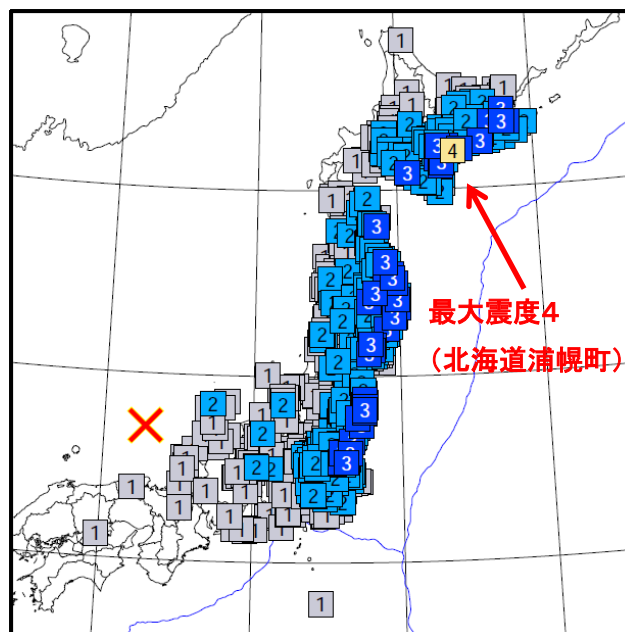


図1 異常震域模式図



オホーツク海南部の地震の震度分布図
(2011年12月10日 M5.7 深さ431km)



京都府沖の地震の震度分布図
(2007年7月16日 M6.7 深さ374km)

図2 異常震域の事例（×印は震央、数字は震度を示す）

異常震域を生じるような深発地震で津波が発生することはまずありませんが、被害の可能性がないわけではありません。地震の規模が大きくなれば震源から離れていても強く揺れるだけでなく、長周期地震動（2021年10月防災メモ参照）の影響を受ける可能性があることにも留意が必要です。